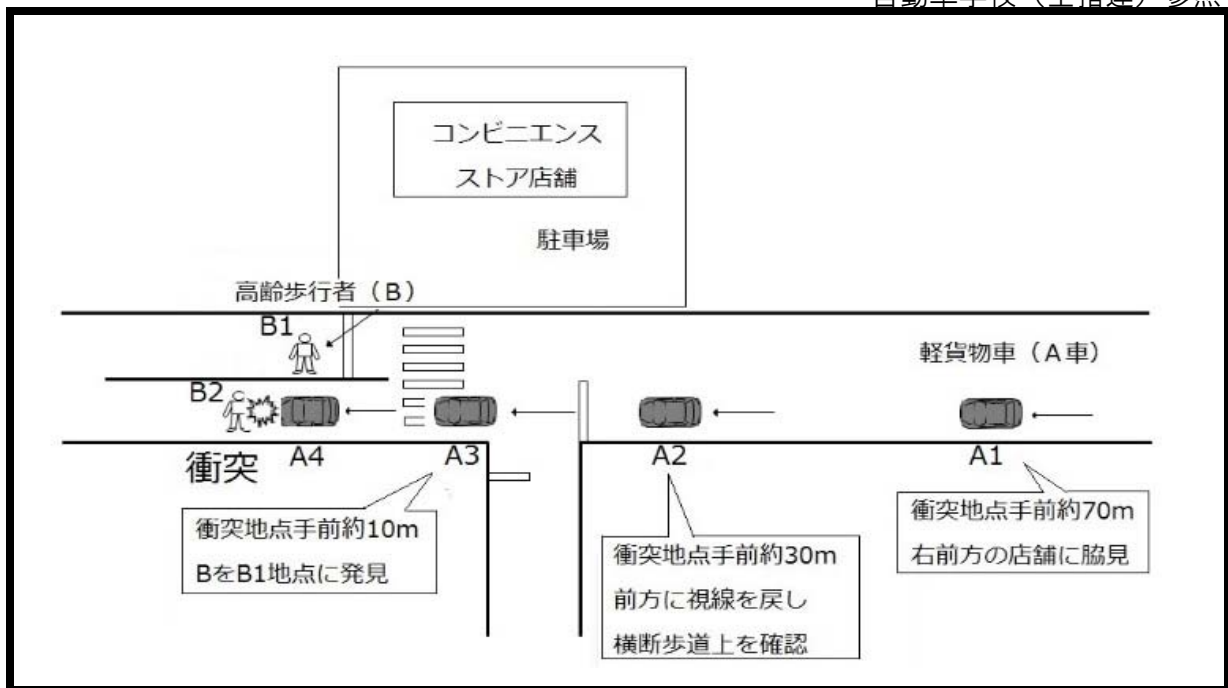


■事故の概況

自動車学校（全指連）参照



事故類型：横断歩道付近横断中

発生日時：午後7時30分頃

当事者A：軽貨物車

当事者B：高齢歩行者

■ 事故の概要

Aは日没後、直線道路を時速約40kmで走行中、右前方のコンビニエンスストアの照明が気になり、視線を移して何気なくそちらを見ていました。前方に視線を戻した時、信号機のない横断歩道にさしかかりましたが、誰もいなかったので減速することなくぼんやりと前方を見ながら走行していたところ、横断歩道前方の暗がりからBが横断してくるのを発見し、慌てて急ブレーキをかけたのですが、間に合わず衝突してしまいました。

■ 事故から学ぶ

この事故はAの協見と漫然運転が一番の原因ですが、Bが横断歩道外で走行車両の直前を横断したことも大きな原因の一つです。

現場は住宅街で街路灯も少なく交通閑散な場所ですが、右側にコンビニエンスストア、左側に住宅が建ち並んでいることから、付近の居住者が買い物のために道路を横断することが予測出来る場所です。横断歩道上に人がいなくても安全だと予断することなく周囲に注意を払う必要があります。。

特に、夜間は明るい場所と暗い場所が混在し、暗い場所はさらに見えにくくなります。そのような特性を認識し、暗い場所から出てくる歩行者等がいらないか細心の注意を払って運転することが大切です。